

令和5年度 文部科学省・群馬県教育委員会委託 「人権教育研究推進事業」兼 地区別人権教育研究協議会研究発表会

令和5年11月28日(火) 於:明和町立明和東小学校

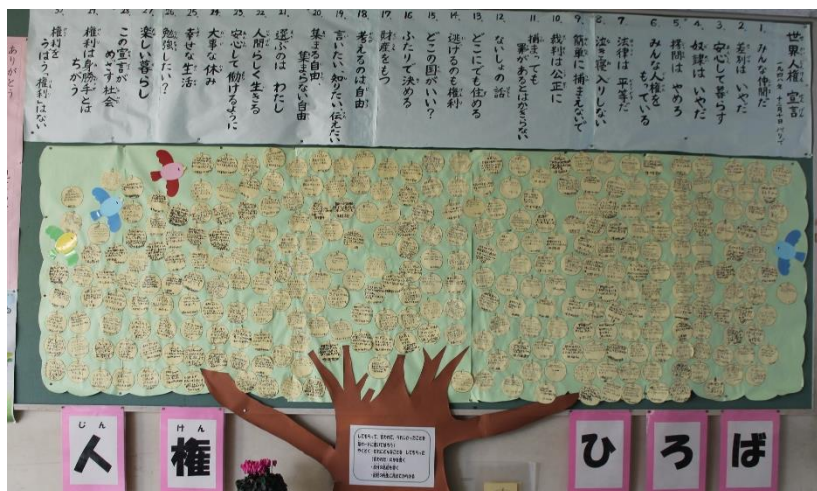
東部教育事務所では、小・中・義務教育学校での人権教育を推進するために、東部管内の先生方にお集まりいただき、地区別人権教育研究協議会を開催しています。今年度は、文部科学省・群馬県教育委員会から委託を受けた「人権教育研究推進事業」を兼ね、各市小・中学校人権教育部会の代表者と開催地である邑楽郡内小・中学校の人権教育主任の皆様に参加していただきました。

「研究テーマ」

多様性を認め、互いを尊重することのできる児童の育成

～自分や他の人のよさや思いを大切にしたい伝え合う活動の充実を通して～

開催校の明和町立明和東小学校には、年間を通じて取り組んできた人権教育の成果について発表していただくとともに、人権教育の重要課題に沿った、3授業を公開していただきました。参加していただいた先生方は、人権教育の視点からとても熱心に協議していただき、大変有意義な研究会となりました。



【特産の梨に見立て、感謝の気持ちを書いた「なしカード」と「世界人権宣言」】

《研究発表》

「多様性を認め、互いを尊重することのできる児童の育成」に向けて取り組んできた実践を、①「道徳科を中核とした授業改善」②「体験活動の充実」③「教育課程の見直し」④「人権集中学習の取組」の4つの観点で研修主任より発表していただきました。



【研究発表の様子】

①「道徳科を中核とした授業改善」では、「多様性を認める」「互いを尊重する」ことを目指し、多様な考えを導き出す発問・問い返し、ICTを取り入れた話し合い活動、板書や教師の手立ての工夫等に視点を当てた研修を繰り返してきました。6年間クラス替えのない小規模校の特性を意識し、道徳科を中核に据え、他教科でも授業改善に取り組まれました。

特に他の学校で参考にさせていただきたい点は、人権教育におけるカリキュラム・マネジメントの推進を図っているところです。これまでも取り組んでいた明和東小の特色ある体験活動である「異年齢交流活動」を生かし、既存の取組を人権教育の視点から捉え直すことで、負担なく、②「体験活動の充実」③「教育課程の見直し」につなげていました。さらに、人権教育の年間指導計画を職員室に掲示し、職員がいつでも見えるように啓発を図りつつ、教科等横断的な視点をもって常に加除修正を行うようにしていました。また④「人権集中学習の取組」を年間2回に分けて試行した結果、教師も児童も継続的に人権意識をもち続けることができました。

II 具体的な取組

(3) 教育課程の見直し(直)

人権教育年間指導計画(各学年)
→人権重要課題と、道徳授業・各行事との関連を図る

職員室内に掲示
日常的に点検・評価
加除・修正を行う

学年	1	2	3	4	5	6
人権教育						
道徳						
総合						
国語						
算数						
理科						
社会						
外国語						
体育						
音楽						
美術						
特別活動						
その他						

【全体会研究発表資料より】

今回の研究にあたり、人権教育の視点から教育課程を見直すことで、日常の学校教育活動全般が「人権教育」につながっていることを教師が理解でき、既存の活動を生かして相互に伝え合う場面を意図的に取り入れることにより、目指す児童像に近づくことができたようです。

《公開授業》

教科 学年	重要課題 内容項目	主題名 教材名
道徳 2年	外国籍の人たち C(16)国際理解、国際親善	がいこくにしたしむ ジョゼくんとおりがみ
道徳 4年	子どもたち C(12)公正、公平、社会正義	公正な態度で 良太のはんだん
道徳 6年	インターネット等による人権侵害 B(7)親切、思いやり	相手を思いやる気持ち グループ外し

2年生では「外国籍の人たち」、4年生では「子どもたち」、6年生では「インターネット等による人権侵害」の重要課題について授業を公開していただきました。明和東小学校の先生方が、研修で取り組んでこられた発問・問い返しの工夫、思いを伝え合う活動等を取り入れていただいたことで、人権教育の直接的指導の実践例として大変参考になるものでした。



2年



4年



6年

【公開授業の様子】



《研究協議会》

令和5年度は、授業研究会のみ実施しました。公開授業を基に、人権重要課題にかかわる直接的指導の在り方について、「人権教育としての授業研究の視点」を中心に協議しました。「成果」「課題」とともに「改善点」について班別協議をする中で、道徳の授業としてだけではなく、人権教育について改めて考えるきっかけとなりました。また、改善策を検討し合う姿からは、参加者の皆さんが自分事として捉え、熱心な協議になっていることがわかりました。

【授業研究会の様子】	【班別協議の記録】(一部)
	
	
	

令和4年度の地区別人権教育研究協議会（桐生市立梅田中学校にて開催）では、「参加体験型学習の研修」を実施したところ、大変好評でした。しかし、今年度は、日程の関係上実施することができませんでした。そこで、全国各地で取り組んでいる実践等について情報提供をいたしました。各市や各校において、職員研修や授業で活用していただき、人権感覚を高める指導を行っていただけると幸いです。

①参加体験型ワークショップ事例	二次元コード
<p>①「人権啓発ワークショップ事例集 ワークショップをはじめようー参加型の人権教室」 （平成26年度）</p> <p>https://www.jinken-library.jp/wp-content/uploads/2014/01/h26_workshop_jireishuu.pdf</p>	
<p>②「人権啓発ワークショップ事例集 ワークショップをやってみよう 参加型の人権教育」 （平成27年度）</p> <p>https://www.jinken-library.jp/wp-content/uploads/2014/01/h27_workshop_jireishuu.pdf</p>	
<p>公益財団法人人権教育啓発推進センター 人権ライブラリー 人権に関するデータベース 委託人権啓発教材（法務省委託） https://www.jinken-library.jp/database/materials.php （上記2冊子の資料集はHPからダウンロード可能です。）</p>	

②動画視聴用サイト紹介（職員研修向け・児童生徒視聴向け）	
<p>◇人権に関する動画はインターネット上にたくさんあります。 以下2つは、参考にしてみてください。</p>	二次元コード
<p>YouTube 人権チャンネル https://www.youtube.com/@jinkenchannel/about</p> <p>人権チャンネル（jinkenchannel）では、人権に関する講演会やシンポジウムなどの映像を紹介しています。</p>	
<p>YouTube MOJchannel 人権擁護局 https://www.youtube.com/@MOJchannel</p> <p>法務省の施策等について、動画で紹介するチャンネルです。 https://www.youtube.com/playlist?list=PLSmkcN62qni5XIo3lhZ7CEnLTgOkR9xk4</p>	

【配付した情報提供資料の一部】

<参加者アンケートより>

《研究発表について》

- 既存の取組を人権の視点で考え直すというところが参考になりました。
- 学校全体の取組や授業研究で、今後、自校や自分自身の資料として取り入れていきたいと思いました。
- 学年の垣根を超えた交流は他学年との意思疎通、考えの共有という点でとても良いなと思いました。

《公開授業・研究協議会について》

- 先生の日常の児童とのかかわりが素晴らしい。児童が明るく、生き生きと自信をもっていて、クラスみんなが仲良くしているようでした。
- 資料の提示、考えをゆさぶる質問がとても参考になりました。
- 思考ツールの活用の仕方について、大変参考になりました。
- 本時のめあてについて、どのように深めればよいのか、具体的な手立てなど知ることができました。
- 様々な意見等、自分では出てこない考え方、どのような授業づくりをされたかについて、とても参考になりました。
- ロイロノートの活用の仕方、授業内での発問の仕方、工夫等今後の授業に活かしていきたいと思います。
- お忙しい中、授業の提供ありがとうございました。本校も単学級で人権教育の視点から見ると、児童の実態が非常によく似ていると感じました。大変勉強になりました。
- 普段関わることが少ない、他校の先生方との協議は、とても勉強になりました。

【校内掲示】



【全体会会場パネル展示】



※全校職員が一致団結して、文部科学省・群馬県教育委員会委託「人権教育研究推進事業」兼 地区別人権教育研究協議会研究発表会に取り組んでいただいた明和町立明和東小学校の皆様にご感謝申し上げます。